ちんぺい

（きんちゃんに向かって）先に言った方がいいよ。

きんちゃん

必ず。。。たぶん。。。じゃない。

必ず楽しませるんで、待っていてください。

市川さん

すばらしい。。。

べーやん

短いなぁ。。。

ねっ、まとめますでしょ。

市川さん

じゃあ、堀内さん。

ちんぺい

短く。(笑)

市川さん

短く。(笑)

べーやん

そうですねぇ、やっぱりあのぉ～。。。(笑)

もうあっという間でしたね、６０になるのは。

何度もその間で「もう一度やってみよう」「もう一回ぐらいやってみようかな」っていう機会を伺えたんですけど。

で、ひとつ前のツアーっていうのは８個ぐらいしかやってないんじゃないかな。

さっと引き上げたんで、なんか不完全燃焼じゃないけど、やっぱりこう。。。陸路じゃないでしょうけど、いろんな所に行って、いろんな人に会いたいなぁっていうのが今回できるんで。

しかも、何度も申しますけど、僕はここで６０を迎えるので、バンドも３人いるのですけど、この二人には申し訳ないのですけど、失礼ない言い方になるかもしれないのですけど、僕は今回は自分のためにやりたいのですよ。

それで必死こいている６０の自分を、もうほんとに赤裸々に等身大で見てもらって、「あ～、６０になってまだがんばれるし、魂はほんとに生き続けるのだなぁ」というのをお互いに感じあえる。

だから音楽的にどうのこうのっていうのはもういいじゃんっていうので、ただみんなと一緒に楽しめるコンサートになったら、きっとみんながもっと楽しいのじゃないかと。

ちょっと話。。。長くなったかなぁ。

市川さん

いやいや、コンパクトでよかったです。

べーやん

そうですか？

まだ、倍ぐらい喋れるけど。。。(笑)

失礼いたしました。

市川さん

いえいえいえ。。。(笑)

じゃあ、谷村さん。

ちんぺい

こうやって６０歳になって３人のアリスが集まれるっていう、それぞれ堀内は堀内のスタッフがいますし、矢沢の方も、僕の方もいるのですけど、そのスタッフ達がみんな、今年夏からほんとにアリスを思う存分やらしてあげようって言って、いろんなセッティングをしてくれた、そういう人達に支えられて、やっと実現できたことがいっぱいあります。

そんな、みんなのおかげでアリスが動き出せるっていう感謝の気持ちを忘れないようにしながら、堀内も矢沢も、ほんとに自分たちは今できるベストで、みなさんが待ってくれている町へ出向いていきます。是非「おかえり」って叫びにきてください。

市川さん

え～、笑顔でアリスが町にやってくるっていうことで、この公演は楽しみにしてくれればとみなさんにお伝えいただけたらと思っています。

じゃ、このへんで。。。

アリス

ありがとうございました。